

みずほCustomer Desk Report 2018/06/20 号 (As of 2018/06/19)

國際為替部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	110.15
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.16	1.1630	128.13	1.3255	0.7403
SYD-NY High	110.58	1.1644	128.51	1.3272	0.7427
SYD-NY Low	109.55	1.1531	126.68	1.3151	0.7348
NY 5:00 PM	110.05	1.1590	127.60	1.3173	0.7383
NY DOW	24,700.21	▲ 287.26	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,725.59	▲ 21.44	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,762.59	▲ 11.16	米国2年債	2.5472	▲0.41bp
日経平均	22,278.48	▲ 401.85	米国5年債	2.7711	▲2.04bp
TOPIX	1,743.92	▲ 27.51	米国10年債	2.8958	▲2.02bp
ソコ日経先物	22,255.00	▲ 440.00	独10年債	0.3715	▲2.60bp
ロンドンFT	7,603.85	▲ 27.48	英10年債	1.2790	▲4.25bp
DAX	12,677.97	▲156.14	豪10年債	2.6175	▲4.45bp
ハンセン指数	29,468.15	▲841.34	USDJPY 1M Vol	7.38	0.73%
上海総合	2,907.82	▲ 114.08	USDJPY 3M Vol	7.68	0.46%
NY金	1,278.60	▲1.50	USDJPY 6M Vol	8.14	0.31%
WTI	64.90	▲ 0.79	USDJPY 1M 25RR	-1.33	Yen Call Over
CRB指数	193.82	▲ 2.36	EURJPY 3M Vol	9.58	0.60%
ドルインデックス	95.02	0.22	EURJPY 6M Vol	9.68	0.43%

東京	<p>オセアニア時間で110円台半ばで推移していたドル円は、ドラッグ米大統領が2000億ドル相当の中国製品に10%の追加関税を検討との報道が伝わるよ110円台前半まで急落。東京時間のドル円は110.16レベルでオープン。その後、中国商務省による「2000億」の中国製品に関税をかけるとの米国の警告は両国間の以前のコンセンサスに反する」「米国が追加的な関税リスクを公表すれば、質的・量的措置を講じ」とのコメントが明らかにになると米中貿易戦争懸念が再燃する格好でドル円は109円台後半まで一段と下落。日経平均株価も軟調推移するなどリスクオフムードが強まる中でドル円はじり安の展開が続き、結局109.55まで下値を切り下げた後109.67レベルで海外へ渡った。</p>
ロンドン	<p>ロンドン市場のドル円はポジション調整による買戻しを受けた。109.67レベルでオープン。アジア時間のリスク回避による円買いの流れを受けロンドン朝方は109.57まで下落。しかし、その後はポジション調整の買戻しが優勢となりロンドン時間高値となる109.94を付け109.89レベルでニューヨークへ渡った。ボントドルは下落した。米中貿易摩擦懸念からリスク回避の動きから全面高となりボントドルも下落。加えて、18日英上院議案が買戻し大きな権限を議会に与える議案を可決し、M政権の案が否定されるでブリグジット先行き不安が広がりがりかぶりの安値1.3151付けた。そしてその後も安値圏のままニューヨークへ渡った。</p>
ニューヨーク	<p>ドラッグ米大統領が2000億ドル相当の中国製品に10%の追加関税の検討が発表され、一段と米中貿易摩擦への警戒感が高まったことから円買いが強まり、海外市場のドル円は109.55まで下落し、109.89レベルでNYオープン。朝方は米5月住宅着工件数が市場の予想を上回った。9月、5月建設許可件数が予想を下回り、強弱まちまちな結果に109.90付近で様子合い、夕方「220ドル超安オープンし下げ幅を拡大する中、ドル円は109.71まで下落する。その後、ハロミ通商製造政策局長が「ドラッグ大統領は引き続き中国と協議する意思はある」との電話会見に対してドル円は買戻しで反応し、110.10をつけるが、上値重く109.87まで反落。一時400ドル超下落したうが下げ止まる中、午後は110.00を挟んだ小幅なレンジ推移し結局110.05レベルでクローズ。欧州時間ではドラッグECB総裁がシムラで開催中のECBフォーラムで「利上げ時期決定は忍耐強さを保ち、段階的に行う」と述べており、利上げに慎重な姿勢を示していることからユーロ売りが進み、ユーロドルは1.1531まで下落し、1.1546レベルでNYオープン。海外時間のユーロ売りが一服し、朝方はユーロの買戻しが進んだことから1.1588まで戻す。20日に日米欧の中銀総裁のバーゼル会議が控える中、午後は様子見ムードが強く1.1580近辺を方向感なく推移。終盤にかけて1.1594まで上昇し、1.1590レベルでクローズ。</p>

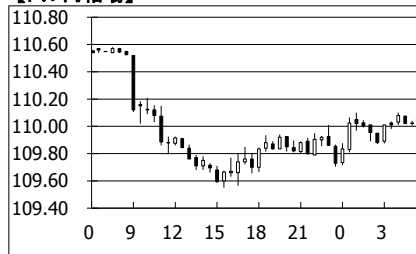
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
6月19日	17:00	欧	ドラギECB総裁 講演「利上げ開始時期の決定では辛抱強い姿勢維持」		
	21:30	米			
		住宅着工件数/建設許可件数	5月	1350k/1301k	1311k/1350k

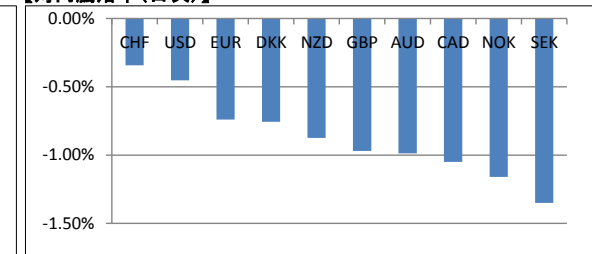
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月20日	15:00	独 PPI(前年比/前月比)	5月 2.5%/0.4%	2%/0.5%
	22:30	欧 ECBフォーラム パネルディスカッション	-	-
	23:00	米 中古住宅販売件数	5月 5.52m	5.46m

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-110.90	1.1500-1.1650	126.00-129.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル/円相場は、徐々に持ち直す動き。アジア時間に109円台後半まで下げたが、その後はリスクオフムードが広がることなく米金利が上昇に転じる流れを受けて、ドル円もじり高の展開で110円台を回復してクローズした。米中貿易戦争懸念が燦っているが、本日もイベント少なく新規の手掛かりに乏しいと思われ、狭い値幅でのレンジ推移が続くだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさうようお願いいたします。また、当資料の著作権はすべて銀行にあり、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのご提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：末木・鶴田